

市川市制施行75周年記念・市史編さん講演会

講演録 「私と市川の発掘」

大塚初重

はじめに

私（大塚）が市川市の古代遺跡に直接関係するようになったのは、勿論戦後に明治大学文学部に入学した1946年（昭和21）以後のことです。市川市平田に住んでいた杉原荘介先生に呼ばれて、日曜日に堀之内貝塚や姥山貝塚の発掘に参加して、貝塚の発掘方法など勉強したものでした。

明治大学文学部に考古学専攻の講座が設置されてからは、学生の発掘実習も兼ねて、堀之内貝塚・姥山貝塚・曾谷貝塚をはじめ市川市内の縄文時代の遺跡発掘を毎年のように実施してきました。市川市だけでなく千葉市の加曽利貝塚や園生貝塚などでも発掘をしました。20名から30名の学生が発掘をしましたから、相当広い面積に及び、縄文時代の貝塚と住居群、住居群と墓地群との関係など縄文時代社会の仕組みが、随分明瞭になりました。

本日は私の手許にあった記録をもとに、私の調査体験をお話ししてご参考に供したいと思います。



1954年（昭和29）5月	国府台4丁目 丸山古墳と旧石器時代遺跡
1954年（昭和29）10月	堀之内貝塚発掘、日本人類学会創立70周年記念（早・慶・明三大学共同発掘）日本民族学会20周年記念調査・地形測量11日間
1960年（昭和35）5月	曾谷貝塚調査 堅穴住居1、埋葬人骨3（胎児埋葬）
1961年（昭和36）5月	大野町字南山（鳴神山遺跡）
1963年（昭和38）5～10月	姥山貝塚発掘実習、中後期 埋葬人骨40余体、住居6
8月	堀之内の一地点、旧石器不明
9月	菅野町東割 宅地内 埴輪片
10月	庚塚 縄文前期の堅穴住居跡発掘